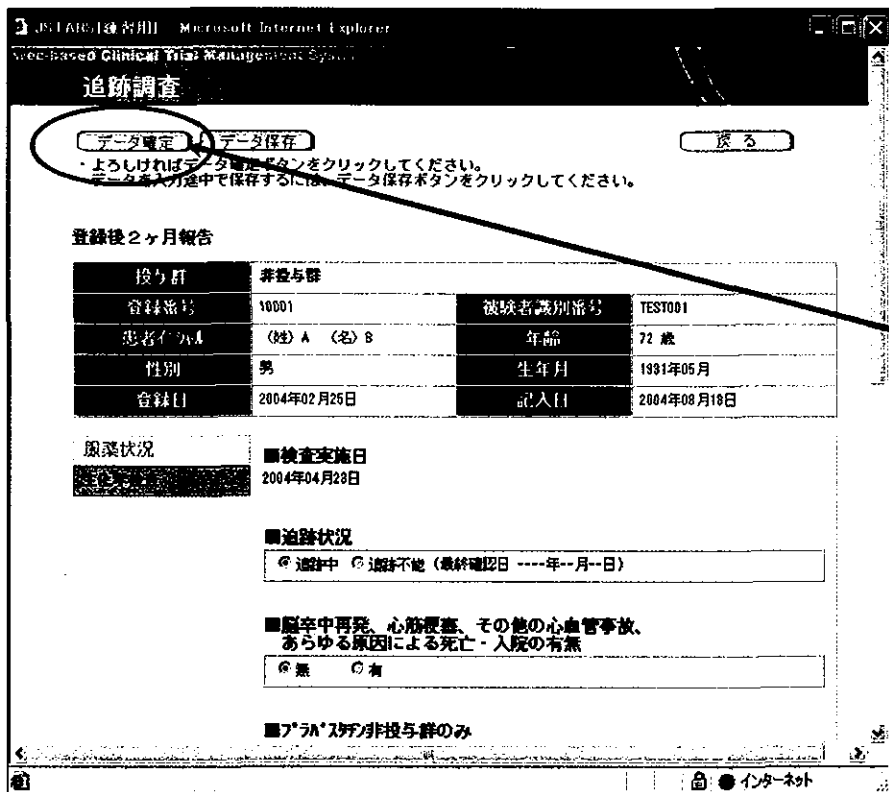


4) 確認画面(図4)が表示されます。

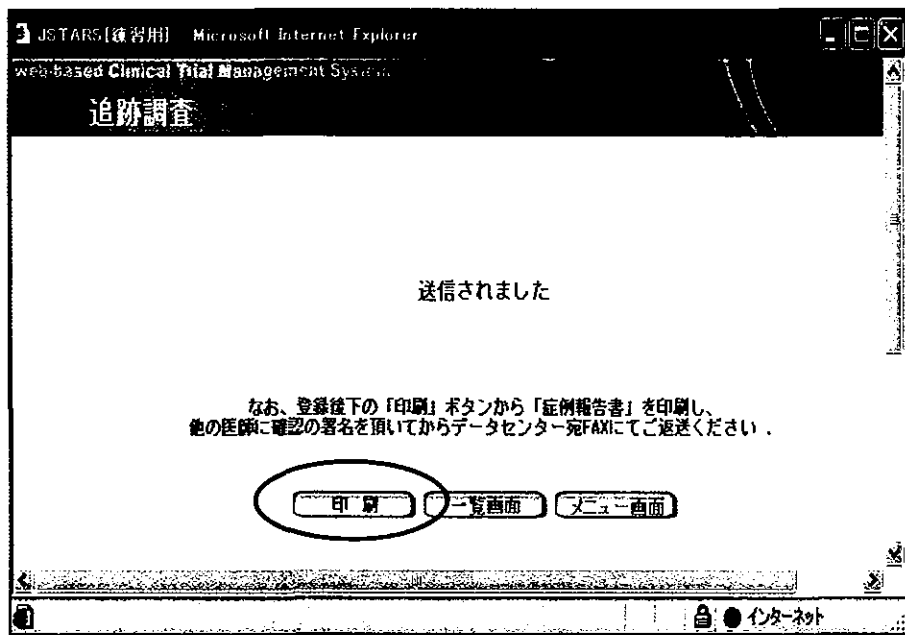


入力内容を再度確認し、問題なければ【データ確定】ボタンをクリックして下さい

Note
入力時点で判明していない項目があれば、画面上の、【データ保存】ボタンをクリックしてください。
"保留"の状態ですらサーバーに保存されます。

図4 追跡調査(確認)画面

5) 結果画面(図5)が表示されます。



- ◆ 正常にデータが送信されると、「送信されました」のメッセージが表示されます。
- ◆ データ送信を確認したら【印刷】ボタンをクリックして下さい



施設内モニタリングの実施

図5 追跡調査(結果)画面

脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬の HMGCoA 阻害剤の 予防効果に関する研究

—臨床試験における症例登録推進のための広報活動に関する研究—
脳卒中市民公開講座の報告

主任研究者	松本 昌泰	広島大学大学院脳神経内科学	教授
研究協力者	郡山 達男	広島大学病院脳神経内科	講師
	西谷美智恵	広島大学大学院脳神経内科学	若手医師
	橋田 寿美	広島大学大学院脳神経内科学	臨床研究協力者
	木村 有希	広島大学大学院脳神経内科学	臨床研究協力者
	児玉 仁美	広島大学大学院脳神経内科学	研究支援者
	松岡 直輝	広島大学病院脳神経内科	

研究要旨

我々の臨床研究実施チームは、平均的な血清コレステロール値を有し、虚血性脳血管障害の既往のある患者を対象として HMG-CoA 還元酵素阻害薬(スタチン)の脳卒中の再発防止、認知症の発症予防、日常生活能力障害の進行の予防や、動脈硬化の進展の抑制に対する有効性と安全性を評価するために企画された多施設共同ランダム化大規模臨床試験「Japan Statin Treatment Against Recurrent Stroke, J-STARS」を支援するために、神経内科医および看護師と薬剤師といった専門的役割の異なるコ・メディカルスタッフで編成されている。平成 16 年度、臨床研究実施チームでは、各参加協力施設の症例登録推進を最大の目標として掲げ、各職種の専門性を活かしながら、様々な視点から本試験の進行を支援した。本試験は、平成 16 年 3 月より全国で症例登録が開始されたが、医師主導の臨床試験に関するシステムの整備が不十分であること、担当医師が日々の臨床等で忙しく、人手不足はもちろん各施設における本試験についての広報活動が不十分であることが原因で症例登録数が伸び悩んだ。そこで臨床研究実施チームでは、一人でも多くの患者様やその家族の方々に、脳卒中に関する知識を提供し、本試験の特徴や意義、目的を理解して頂き、患者様や家族自らの意思で本試験への参加を検討して頂くことを目的として脳卒中市民公開講座を企画・実施した。市民公開講座は、各地区の地区推進委員の協力を得て開催することとし、平成 16 年度は、当該施設が所属する広島で 2 回の脳卒中市民公開講座を開催した。実際の公開講座では、脳卒中や高脂血症に関する基礎知識を提供すると同時に、各回テーマを決め、栄養士やリハビリテーション専門医を招いて、脳卒中予防のための食事療法や運動療法について御講演いただいた。各公開講座の最後に臨床研究実施チームから本試験の概要や意義について説明し、希望者にはリーフレットを配布した。2 回の公開講座は非常に好評で総勢約 300 名もの参加があり、本試験についての問い合わせや質問も多かった。市民公開講座の開催は一般市民に脳卒中の発症や再発を予防することの大切さおよび本試験の位置づけや意義、目的を広く周知することが出来、本試験の広報活動として、今後の症例登録への貢献が期待される。

A. 研究目的

本研究は虚血性脳血管障害患者を、高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬(スタチン)投与群と、スタチン以外の治療を受ける群(非スタチン群)の2群に分類し、スタチンの有効性を多施設共同ランダム化比較試験で検討する。目標症例登録数は3000例で、目標数を確実に確保するためには参加施設の担当医師への働きかけと被験者の研究参加への促進が非常に重要である。我々の臨床研究実施チームは、神経内科医師に加え、看護師と薬剤師といったコ・メディカルスタッフで編成されている。そこで我々は、各々の専門性を活かし、様々な視点から、本研究の実施・継続のための広報活動について検討した。被験者やその家族らが脳卒中の発症や再発の予防の重要性を十分に理解し、本試験の意義や目的、研究内容を十分に把握した上で、患者や家族自ら本試験への参加を検討すること、倫理的配慮に基づいた研究に安全かつ継続的に参加できることを目標とし、脳卒中市民公開講座を企画・開催した。

B. 方法

症例登録開始に先立ち平成15年度は、平成14年度に作成したプロトコルが再検討され、最終的なプロトコルが平成15年12月に完成し、平成16年3月より症例登録が開始された。臨床研究実施チームでは、毎月2回チーム会議を開催し、研究推進に関する様々な検討を行っている。そこで、各施設からの質問や、臨床試験施行上の問題点、改善すべき点を把握し、症例登録数を増やすための方法をチーム会議で検討した。研究協力医師から寄せられる問題点には、担当医師が日々の臨床等で忙しく、人手不足はもちろん臨床試験に関する情報を患者や家族に十分

提供できないことがあげられたため、臨床研究実施チームでは、ひとりでも多くの患者やその家族に、本試験の意義や目的、方法を周知することとした。その具体的方法として各地区の地区推進委員の協力を得て市民公開講座を開催することとした。

C. 結果

市民公開講座の開催

本研究においては、全国を6ブロックに分けて地区推進委員会を設置し、中央事務局の支援のもと、地区毎に症例登録の促進と被験者の研究参加の継続を目的とした活動を行うこととしている。そのひとつとして平成16年度は、J-STARS中央事務局が主催で2回の脳卒中市民公開講座を開講した。第1回目は、平成16年7月4日に、「脳卒中の治療と予防の最新情報—脳卒中を知って防ぐために—」と題し、本研究の中国四国地区推進委員の一人である江草玄士医師(江草玄士クリニック院長)が脳卒中およびコレステロールや動脈硬化に関する基礎知識について、本研究中央事務局の野村栄一(あかね会土谷総合病院神経内科 医長)が脳梗塞の治療と予防について講演した。また、第1回目は脳卒中の危険因子である高脂血症などの生活習慣病の予防法の中でも特に食事療法に注目し、栄養士が動脈硬化を進めないための食事についての講演を行った。第2回目は、平成17年12月12日に、日本脳卒中協会との共催で、「脳卒中の発症と再発予防の最前線—脳卒中を知って防ぐために—」と題し、脳梗塞の基礎知識と予防法の紹介とともに、リハビリテーション専門医の豊田章宏医師(中国労災病院 リハビリテーション科 医長)による、脳卒中の発症や再発予防お

よび後遺症のための運動療法について実演を交えた講演を行った。講演の後に、臨床研究実施チームより、本研究(J-STARS)の紹介や意義、被験者募集の案内を行った。脳卒中の予防のための啓発活動および積極的な症例登録を推進するために、これらの活動を、他の地区でも実施する予定としており、臨床研究実施チームでは、今後の市民公開講座の参考とする目的で、参加者に、広報活動方法、参加者の年齢層、疾患やテーマに対する関心、本研究に対する関心などについて意見・要望を調査するアンケートを実施した。参加者総数約 300 名のうち、203 名(約 68%)より回答を得、うち、本研究に興味を持った参加者は 119 名(約 52%)であり、その背景として家族・知人あるいは自分自身が脳疾患の既往をもつ者が大半を占めた。参加者の年齢層は 61~80 歳が 150 名(約 74%)と最も多く、性差はなく、今後講演を希望するテーマとして、認知症の予防法、老人病全般、心臓病・脳疾患等が挙げられた。また、本公開講座を知ったきっかけとしては新聞(地方紙)が最も多く、次いで院内掲示ポスター、主治医からの案内が多かった。また、第 1 回に参加した者の大半は第 2 回にも参加しており、一般市民の脳卒中に対する関心の高さやこのような公開講座への期待の高さが伺えた。

(参照:資料 24~図 30)

D. 考察

2 回の市民公開講座の開催により、患者やその家族らに脳卒中の発症や再発予防に関する基礎知識を提供することが出来、また本試験の意義や目的、位置づけを周知することが出来た。また、各回で参加者らにアンケートを依頼することで、一般市民の方々の意見や質問、本試験

への興味・関心の有無、有効な広報活動方法等を把握することが出来、次回の市民公開講座の参考とすることができた。

来年度は、引き続き症例登録および症例追跡が実施され、あらたに様々な問題点の浮上も予測される。それらの問題点に早期に対応するために臨床研究実施チームでは、各々の専門性を生かしながら改善をはかる予定である。本試験は、一般市民の脳卒中再発予防に対する意識の向上とボランティア精神に基づいて実施されるため、平成 17 年度も今年度と同様に各地区で順次市民公開講座を開催することにより、本試験の被験者募集をはじめ、既に本試験に参加されている患者の意識づけ、参加継続に大きく貢献できると考える。

(倫理面への配慮)

本研究は医師主導の臨床試験であるが、被験者のプライバシー等倫理的側面には十分に配慮するために、「臨床研究に関する倫理指針」に則って行われる。本研究に参加する被験者の人権を擁護する目的で、個人を特定する情報は一切公表しないこととしており、本研究への参加を拒否した場合でも、決して被験者に不利益が生じないよう十分に配慮する。市民公開講座においても、本試験は十分なインフォームドコンセントを行った後、同意書への自署後に開始されること、途中で参加をやめたいと思った場合はいつでもやめられること、個人情報保護に留意した情報管理を行うこと、本試験への参加は決して強制ではなく被験者らの意思に基づいて実施することを参加者らに説明した。

E. 結論

本研究は、当該施設が中心となり、全国約 120 施設、1 施設あたり 30 例の症例登録を予定していたが、本年度は全国

131 施設から参加応諾を得ることができ、症例登録を順調に進行している。今年度は、広島地区で2回の市民公開講座を開催することにより、患者様やその家族らに脳卒中に関する基礎知識や予防法、本試験の意義や目的を周知し、中国四国地区、中でも広島地区での症例登録数の飛躍的増加に繋げることができ、今後他の地区においても臨床試験推進活動の一

つとして市民公開講座の開催が有効な手段であることを示すことができた。このような臨床研究実施チームの活動は本試験の広報活動および症例登録推進に大きく貢献したといえる。

F. 健康危険情報

現在のところなし。

脳 卒 中

再発予防の臨床試験に
参加してみませんか



脳卒中市民公開講座
主任研究者 松本昌泰、担当医師 郡山達男
中央事務局 橋田寿美、木村有希
Dept. of Clin. Neurosc. & Therap., Hiroshima Univ. Grad. Sch. of Biomed. Sci.



J-STARSとは、apan tatin reatment gainst ecurent trokeの略で、2002年、我が国初の日本人に適した「脳卒中の再発予防」のための治療法の確立を目指して発足した専門チームで、厚生労働省から支援を受けています。


Dept. of Clin. Neurosc. & Therap., Hiroshima Univ. Grad. Sch. of Biomed. Sci.

"apan tatin reatment gainst ecurent troke" Study


J-STARS

Dept. of Clin. Neurosc. & Therap., Hiroshima Univ. Grad. Sch. of Biomed. Sci.



高齢化や生活スタイルの欧米化により、脳卒中や痴呆症の患者様が増えています。J-STARSは「日本人に最適な治療で脳卒中の再発を防ぎたい」という思いで発足し、脳卒中という深刻な病気から国民を守ることを使命と考えています。

Dept. of Clin. Neurosc. & Therap., Hiroshima Univ. Grad. Sch. of Biomed. Sci.

 「臨床試験」って何ですか？

臨床試験とは・・・

健康な方または患者さんにボランティアとしてご協力いただき、新しいお薬の開発や治療法の確立のために行う試験です。

J-STARSは・・・

高脂血症の治療薬として既に市販されているお薬の、「脳卒中の再発予防」の新しい治療法の確立を目指すための臨床試験です。

J-STARSで使用するお薬は・・・

☆J-STARSで使用するお薬は、プラバスタチン（商品名メバロチン）というコレステロールを下げるお薬です。

☆一般的にスタチンと呼ばれており、高脂血症治療薬の中でも、第一選択薬としてたくさんの患者さんに飲まれています。

スタチンの新しい可能性

海外の試験

スタチンは、狭心症の患者様の心筋梗塞の再発や、脳卒中の発症を抑制できる。欧米人では、スタチンが、脳卒中の発症に対して効果を発揮する可能性がある。



J-STARSでは、日本人においても、スタチンが心筋梗塞や脳卒中の発症を抑制するかどうかを明らかにすることを目的に、臨床試験を開始しました



J-STARSの行う臨床試験は

高脂血症治療薬であるプラバスタチンがコレステロールの低下の他にも

- ①脳卒中の再発予防
 - ②痴呆症の予防
 - ③心筋梗塞の発症予防
- などに役立つかを調べます。



対象となる患者様は・・・

- 年齢が45歳以上80歳以下
- 1カ月以上3年以内に心原性脳塞栓症以外の虚血性脳卒中を起こし、現在までの経過が、はっきりしている
- 血清コレステロール値が180～240mg/dl以下
- 患者様の健康保険診療内で実施
- 臨床試験参加中、外来通院が可能の方



試験の方法は・・・(1)

J-STARSにご参加頂いた場合は、以下の2つのグループに分かれて頂きます。

- ①プラバスタチンを飲む群(スタチン群)
プラバスタチンを1日1回飲んで頂きます。
- ②スタチン以外の治療を受ける群(非スタチン群)
担当医の判断でプラバスタチン以外の治療を受けて頂きます。(例:食事療法や運動療法、高脂血症に対する他の治療薬)



試験の方法は・・・(1)

2群に差はありますか

どちらの群になったとしても、同じように脳卒中やその他の疾患に対する治療を受けることができます。

2群への割付はどのように決まるのですか

スタチン群と非スタチン群のどちらの群になるかはコンピューターで決められますので、患者さんも主治医も選ばません。



参加された患者様は・・・

参加後のスケジュール

診察、血圧測定、尿検査、採血や画像検査などを定期的に行います

いつでも参加をとりやめることができます

参加は患者様の意志を尊重します。参加を断ったり、中断した場合でも一切不利益はありません。



脳卒中なんでも相談

平成16年12月4日土曜日から、脳卒中協会
広島県支部が、「脳卒中なんでも相談」を開始
しました。

相談日時: 毎月第一土曜日、AM10時～PM4時まで

相談窓口: 脳卒中協会広島県支部

(広島大学脳神経内科内に事務局を設置)

相談方法: FAX



ご興味のある方は
ご連絡下さい

広島大学脳神経内科
J-STARS中央事務局



Department of Neurology & Therapy, Hiroshima University School of Medicine, Hiroshima, Japan



平成16年度厚生労働科学研究費補助金（効果的医療技術の確立推進臨床研究事業）
「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬のHMGCoA阻害剤の予防効果に関する研

第1回 脳卒中市民公開講座

脳卒中の治療と予防の最新情報
- 脳卒中を知って防ぐために -

対象は、脳血管疾患や生活習慣病の患者様やそのご家族です。お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。なお、定員は200名程度です。ご予約は承っておりませんので、当日は定員になり次第締め切らせて頂きますが、ご了承下さい。

開催日時：平成16年7月4日（日）13:30～15:30

開催場所：広島大学病院構内 広仁会館 2階 大会議室



座長 広島大学大学院 脳神経内科学 教授（J-STARS主任研究者）松本 昌泰 先生

司会 広島大学病院 脳神経内科 講師（J-STARS中央事務局） 郡山 達男 先生

演者 江草玄士クリニック 院長 演題

江草 玄士 先生

コレステロールと動脈硬化

広島大学病院 救急部 助手

野村 栄一 先生

演題 脳梗塞にならないために

- 治療と予防の最前線 -

中電病院 食養科 栄養士長 演題

門 尚子 先生

動脈硬化を進めないための食事

なお、市民公開講座終了後、高脂血症治療薬(HMGCoA還元酵素阻害薬)を用いた脳卒中の再発予防に関する臨床試験のご紹介をさせていただきますので、ご興味のある方は引き続きご参加下さい

【アクセス方法】

市内路線バス「広島大学病院行き」終点下車

【参加費】

無料

【お問い合わせ窓口】

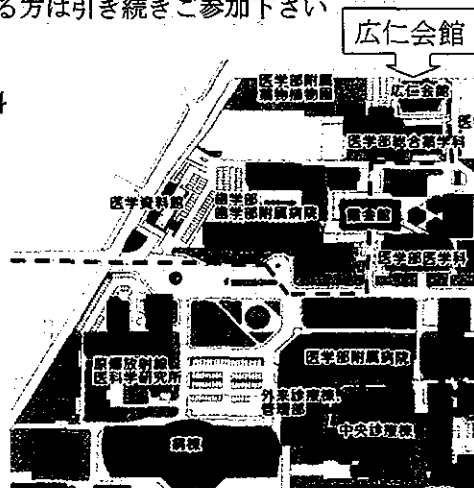
J-STARS中央事務局

広島大学大学院脳神経内科学

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3

TEL:(082)257-5201 e-mail: jstars-office@umin.ac.jp

受付時間：月～金 AM9:00～PM5:00





平成 16 年度厚生労働科学研究補助金（循環器疾患等総合研究事業）

「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬の HMG-CoA 阻害剤の予防効果に関する研究」

第 1 回 脳卒中市民公開講座

脳卒中の治療と予防の最新情報

-脳卒中を知って防ぐために-

プログラム

平成 16 年 7 月 4 日（日）13:30～

1. 開会のご挨拶

広島大学大学院 脳神経内科学 教授 松本昌泰先生

2. コレステロールと動脈硬化

江草玄士クリニック 院長 江草玄士先生

3. 脳梗塞にならないために-治療と予防の最前線-

広島大学病院 救急部 助手 野村栄一先生

4. 動脈硬化を進めないための食事

中電病院 食養科 栄養士長 門 尚子先生

5. 閉会のご挨拶

広島大学病院 脳神経内科 講師 郡山達男先生

なお、市民公開講座終了後、高脂血症治療薬（HMGCoA 還元酵素阻害薬）を用いた脳卒中の再発予防に関する臨床試験のご紹介をさせていただきますので、ご興味のある方は引き続きご参加下さい。

もしよろしければ資料の中にございますアンケートにご協力下さい。

7. 私たちは、「脳卒中の再発予防に関する大規模臨床試験 J-STARS」にご参加頂ける患者さんを募集しています。ご自分やご家族の方で J-STARS に参加したいと思う方がいらっしゃいましたら、もし差し支えなければ以下にご記入ください。

- ご氏名： _____
- ご住所： _____
- 電話番号： _____
- 電子メールアドレス： _____
- 年齢： _____ 歳

1) ご本人またはご家族が脳卒中にかかったことがありますか。 ある ・ ない
→ 「ある」と答えられた方におたずねします。
ご本人、ご家族のどちらですか。 ご本人 ・ ご家族
また、発症時期はいつ頃ですか。 発症時期： 年 月頃

2) 現在脳卒中で病院に通院されていますか。 通院している ・ 通院していない
→ 「通院している」と答えられた方におたずねします。
よろしければ病院名、担当医師名をご記入下さい。
病院名： 医師名：

3) これまでに高脂血症と診断されたことがありますか。 ある ・ ない
→ 「ある」と答えられた方におたずねします。
高脂血症のお薬をのんでいますか。 はい ・ いいえ

4) コレステロール値がもしおわかりでしたら教えてください _____ mg/dl

5) 今後こちらから市民公開講座や臨床試験に関するご案内をさしあげてもよろしいでしょうか。
連絡してもかまわない ・ 連絡しないで欲しい

J-STARS 臨床試験に興味・関心を持たれた方はお気軽に広島大学 脳神経内科までご連絡下さい（連絡先は配布しておりますリーフレットをご覧ください）。

8. 今後、市民公開講座のテーマにしてほしい事柄や病気の治療や予防法、あるいはご意見・ご要望などがございましたらご自由に記載をお願い致します。

ご協力ありがとうございました。

【資料28】 第1回脳卒中市民公開講座アンケート結果

第1回市民公開講座(H16.7.4)アンケート結果
脳卒中の治療と予防の最新情報－脳卒中を知って防ぐために－
参加者:39名 アンケート回答:33名

項目	選択	合計
1 年齢	20歳以下 21～40歳 41～60歳 61～80歳 81歳以上 記載なし	0 0 7 23 2 1
2 性別	男性 女性 記載なし	10 21 2
3 今回の市民公開講座について知った方法	ポスター (病院内掲示) 案内状 医師から聞いた 知人から聞いた その他*	7 (5) 14 2 9 1
4 今回の市民公開講座参加のきっかけ(複数回答可)	内容に興味があった 家族・知人に脳疾患の方がいる 自分自身が脳卒中を患ったことがある その他*	20 9 5 1
5 興味があった演題	コレステロールと動脈硬化(江草玄士先生) 脳梗塞にならないために(野村栄一先生) 動脈硬化を進めないための食事(門尚子先生)	21 21 13
6 J-STARSへの興味 J-STARSへの参加 J-STARSの更に詳しい説明	あり したい 聞きたい	21 4 4
7 1)脳卒中の罹患歴	あり(本人) あり(家族) 発症時期(－3年～－1ヶ月)	4 8 4
2)脳卒中による通院	あり	6
3)高脂血症	あり	7
4)コレステロール値	180-240mg/dl	7
5)今後の連絡	可 (うち、連絡先記載あり)	23 (15)

8	今後希望するテーマ ご意見・ご要望	記載あり*	8
---	----------------------	-------	---

- * 3. 市民公開講座を知った方法「その他」
江草クリニック看護師さんより
- * 4. 市民公開講座参加のきっかけ「その他」
痴呆症家族の会への関わりから
- * 8. 今回の市民公開講座に対するご意見・ご要望
現在、薬を頂いている医院では、昨年2月から検査をしていますが、コレステロール値は薬を服用していれば特に検査は必要ないのでしようか。
く今後希望するテーマ>
アルツハイマー、統合失調症、ボケ
脳神経治療の最新医療技術等、脳腫瘍、脳下垂体腺腫
脳梗塞と脳血管痴呆の関係、再発防止対策
心臓病に関する事、アレルギー、癌



平成16年度厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患等総合研究事業）
「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬のHMGCoA阻害剤の予防効果に関する研

第2回 脳卒中市民公開講座

脳卒中の発症と再発予防の最前線 - 脳卒中を知って防ぐために -

対象は、主に、脳卒中の患者様やそのご家族ですが、その他、ご興味のある方々も、お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。なお、定員は150名程度です。ご予約は承っておりませんので、当日は定員になり次第締め切らせて頂きますが、ご了承下さい。

開催日時:平成16年12月12日 (日) 14:00～16:00

開催場所:国際教育センター 4階 400-A号室

参加費:無料(RCC文化センターの駐車場ご利用の場合は、割引券をお渡し致します)

座長 広島大学大学院脳神経内科学教授 (J-STARS主任研究者) 松本 昌泰 先生

司会 広島大学病院脳神経内科講師 (J-STARS中央事務局) 郡山 達男 先生

演者

土谷総合病院、中島土谷クリニック神経内科 医長 **野村 栄一** 先生

★演題 脳梗塞にならないために知っておきたい最新情報
一特に、高血圧、高脂血症、糖尿病、不整脈との関係一

中国労災病院 リハビリテーション科 部長 **豊田 章宏** 先生

★演題 脳卒中対策：最近、運動してますか？



なお、市民公開講座終了後、高脂血症治療薬(HMG-CoA 還元酵素阻害薬)を用いた脳卒中の再発予防に関する臨床試験のご紹介をさせていただきますので、ご興味のある方は引き続きご参加下さい。

【アクセス方法】 国際交流センター (広島市中区鞆町1-5、TEL:082-222-2277)

- 1) 広島駅 (南・在来線口) から徒歩10分→駅西高架橋の西側の歩道橋をご利用下さい
- 2) 広島駅から電車を利用する場合 紙屋町行き約10分【銀山町 (かなやまちょう) 電停】下車
- 3) 宇品港から電車を利用する場合 紙屋町経由広島駅行き約30分【銀山町 (かなやまちょう) 電停】下車
- 4) バスセンターから電車を利用する場合 広島駅行き約10分【銀山町 (かなやまちょう) 電停】下車

【お問い合わせ窓口】

J-STARS中央事務局

広島大学大学院 脳神経内科学

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3

TEL:(082)257-5201 受付時間:月~金 9:00~17:00

e-mail: jstars-office@umin.ac.jp





平成16年度厚生労働科学研究補助金（循環器疾患等総合研究事業）

「脳血管疾患の再発に対する高脂血症治療薬のHMGCoA阻害剤の予防効果に関する研究」

第2回 脳卒中市民公開講座

脳卒中の発症と再発予防の最新情報
-脳卒中を知って防ぐために-

プログラム

平成16年12月12日（日）14:00～16:00

1. 開会のご挨拶

広島大学大学院 脳神経内科学 教授 松本昌泰先生

2. 「脳梗塞にならないために知っておきたい最新情報

—特に、高血圧、高脂血症、糖尿病、不整脈との関係—

土谷総合病院・中島土谷クリニック 神経内科 医長 野村栄一先生

3. 「脳卒中対策：最近、運動していますか？」

中国労災病院 リハビリテーション科 部長 豊田章宏先生

4. 閉会のご挨拶

広島大学病院 脳神経内科 講師 郡山達男先生

なお、市民公開講座終了後、高脂血症治療薬（HMG-CoA還元酵素阻害薬）を用いた脳卒中の再発予防に関する臨床試験のご紹介をさせていただきますので、ご興味のある方は引き続きご参加下さい。

もしよろしければ資料の中にごさいますアンケートにご協力下さい。

第2回脳卒中市民公開講座
脳卒中の発症と再発予防の最前線-脳卒中を知って防ぐために-
アンケート

この度は、市民公開講座にご参加いただき、ありがとうございました。

今回の市民公開講座は、広島大学大学院脳神経内科学教授 松本昌泰が中心となって行っている大規模臨床試験（J-STARS）関連事業の一環として開催いたしました。

皆様のご感想やご意見を今後の参考にさせていただきたいと思っておりますので、以下のアンケートに可能な範囲でご協力をお願いいたします。

以下の質問に対して、あてはまるものに○をご記入ください

1. 年齢： 20歳以下、21～40歳、41～60歳、61～80歳、80歳以上
2. 性別： 男性 ・ 女性
3. 今回の市民公開講座について、どこで（何で）お知りになりましたか。
 - 1) ポスター（ポスターを見た場所：)
 - 2) 案内状
 - 3) 中国新聞
 - 4) 医師から聞いた（病院名、医師名)
 - 5) 知人から聞いた
 - 6) その他（)
4. 今回の市民公開講座に参加しようと思ったきっかけは何ですか。（複数回答可）
 - 1) 内容に興味があったから
 - 2) 家族・知人に脳卒中の方がいるから
 - 3) 自分自身が脳卒中を罹ったことがあるから
 - 4) その他（)
5. 「脳卒中の再発予防に関する大規模臨床試験 J-STARS」にについて感想をお聞かせ下さい。
 - 1) J-STARSに興味を持たれましたか。 はい ・ いいえ
 - 2) J-STRASに参加したいですか。 はい ・ いいえ
 - 3) J-STARSについてさらに詳しい説明を聞いてみたいと思われませんか。 はい ・ いいえ
6. 私たちは、「脳卒中の再発予防に関する大規模臨床試験 J-STARS」にご参加頂ける患者さんを募集しています。ご自分やご家族の方でJ-STARSに参加したいと思う方がいらっしゃいましたら、差し支えない範囲でご記入下さい。
 - 1) ご本人またはご家族が脳卒中にかかったことがありますか。
ご本人：ある（発症 年 月頃）・ ない
ご家族：ある（発症 年 月頃）・ ない
 - 2) 現在脳卒中で病院に通院されていますか。通院している ・ 通院していない
（病院名： 医師名：)
 - 3) これまでに高脂血症と診断されたことがありますか。 ある ・ ない ・ 不明
高脂血症のお薬をのんでいますか。 はい ・ いいえ ・ 不明

（裏面へ）

4) 今後市民公開講座や臨床試験に関するご案内をさしあげてもよろしいでしょうか。

連絡してもよい ・ 連絡しないで欲しい

【ご連絡先】

- ご氏名： _____
- ご住所： _____
- 電話番号： _____
- 電子メールアドレス： _____

7. 今後、市民公開講座のテーマにしてほしい事柄や病気の治療や予防法、あるいはご意見・ご要望などがございましたらご自由に記載をお願い致します。

ご協力ありがとうございました。

【資料 32】 第 2 回脳卒中市民公開講座：アンケート結果

第2回市民公開講座(H16.12.12)アンケート結果
脳卒中の発症と再発予防の最前線－脳卒中を知って防ぐために－
参加者：約250名 アンケート回答：170名

項目	選択	合計
1 年齢	20歳以下	0
	21～40歳	6
	41～60歳	34
	61～80歳	127
	81歳以上	2
2 性別	記載なし	1
	男性	90
	女性	78
	記載なし	2
	ポスター(病院内掲示)	12
3 今回の市民公開講座について知った方法	案内状	145
	医師、看護師から聞いた	4
	知人から聞いた	8
	その他(その他の生活習慣病の既往など)	1
	内容に興味があった	140
4 今回の市民公開講座参加のきっかけ(複数回答可)	家族・知人に脳疾患の方がいる	13
	自分自身が脳卒中を患ったことがある	11
	その他	6
	あり	98
	聞きたい	29
5 J-STARSへの興味 J-STARSへの参加 J-STARSの更に詳しい説明	聞きたい	7
	あり(本人)	24
	あり(家族)	55
	発症時期(－3年～－1ヶ月)	19
	あり	31
6 2)脳卒中による通院 3)高脂血症 4)コレステロール値	あり	39
	180-240mg/dl	16
	可(うち、連絡先記載あり)	104(101)
	記載あり*	90
	記載あり*	90

平成 16 年 12 月吉日

第 2 回脳卒中市民公開講座の御礼

拝啓 歳晩の候 皆様にはその後いかがお過ごしでしょうか。

先日は、広島大学大学院脳神経内科学主催の脳卒中市民公開講座（脳卒中の発症と再発予防の最前線—脳卒中を知って防ぐために—）にご参加頂き誠にありがとうございました。有意義な時間を過ごして頂けましたでしょうか。

当日ご協力いただきましたアンケートの結果からも、皆様の脳卒中に対する関心の高さが伺えました。脳卒中治療に携わる我々医療人と致しましては、今後も脳卒中予防あるいは治療に関するあらゆる情報を皆様にご提供できるよう、引き続き考えてゆきたいと存じます。

また、講演会の最後にご紹介させて頂きました「脳卒中の再発予防に関する大規模臨床試験（J-STARS）」につきましても、アンケートのご回答の中で一部の方々に関心を持って頂いておりますので、改めて簡単にご案内をさせて頂く次第です。ご興味のある方は J-STARS 中央事務局（別添）まで是非ご連絡下さい。

以上、簡単ではございますが、御礼方々ご挨拶とさせていただきます。

年の瀬にご多忙の折、お元気で良い年をお迎え下さい。

敬具

広島大学大学院脳神経内科学 教授 松本昌泰

講師 郡山達男

J-STARS 中央事務局スタッフ一同